

おち町

議会だより OCHI TOWN

No.97

2011年8月1日発行
高知県越知町議会

ラフティングで
仁淀川を満喫!

6月定例会

- 2P 23年度一般会計1億9,367万円を追加
3区公営住宅用地購入や町道改良工事など
- 6P 10年後の町の将来像 (第5次総合振興計画)
- 8P 横畠地区町道3路線を整備 (辺地総合計画)
- 10P 地震対策や自然エネルギー政策を問う (一般質問)
- 16P 初開催 議会報告会

平成23年度一般会計

町道筏津線、今成深瀬線の改良工事など

1億9367万円を補正

6月定例会は、10日から15日までの会期で開き、平成23年度一般会計・特別会計の各補正予算および10年後の町の将来像を示した「第5次総合振興計画」の策定【6ページに関連記事】、黒瀬ログハウスの指定管理者の指定【8ページに関連記事】、条例の一部改正など9件と専決処分5件を全会一致で可決・承認しました。

一般質問【10ページから】は、地震対策や自然エネルギー政策など、6人が質問しました。

3区公営住宅建設用地や 横倉山南面の山林を購入

一般会計の補正内容

総務費

横倉山南面の購入費に219万円。
固定資産評価替え対応作業委託料など。

民生費

住居の支障木の伐採などへの補助金（生活環境改善支援事業）など。

衛生費

中大平水道施設改修工事。

農林水産業費

こうち農業確立支援事業（農業団体への農機具等の購入補助）に320万円。

農道拡幅工事、女川排水路改修工事、林道横倉長者線舗装補修工事など。

商工費

商工会・観光協会への補助金。黒瀬キャンプ場にシャワー設置工事など。

土木費

一般住宅耐震改修および設計補助金620万円。
町道笹津線・今成深瀬線などの改良工事、町道修繕・側溝新設工事などに1億4817万円。
橋りょう点検委託料、町道物件移転補償など。

消防費

備蓄毛布の購入。楠神防火水槽流末処理工事。

教育費

小学校、中学校への図書購入。
総合運動場入り口への門扉設置工事など。

特別会計の内容

下水道事業

マンホールポンプ制御盤の取り替え工事費。

土地取得事業

3区公営住宅建設用地の購入費1950万円。

平成23年度6月補正予算

会計名	補正額	総額
一般会計	1億9367万円	42億1580万円
下水道特別会計	343万円	1億5518万円
土地取得特別会計	1950万円	1967万円

日ノ浦あじさい街道 約10*にわたりきれいな景色が続く

放置山林などの伐採に補助金



大きくなった樹木が生活や交通の妨げになっている

岡林学議員 生活環境改善支援の補助金は、放置山林の除去ということだが、その内容は。

岡林住民課長 放置山林や生け垣等の除去に、20万円を上限として事業費の90%を補助する。

補助の対象は、受益者や山林等の所有者が65歳以上、または障害者手帳の交付世帯、町民税非課税世帯などで、山林等の所有者の承諾を得たもので、基本的に区長の申請による。

単独町営住宅 4戸を払い下げ

斎藤政広議員 町営住宅の売却は、どこの住宅が坪いくらで売れたのか。また、今後も売れるのか。

大原総務課長 鍋ヶ淵団地が1区画、3区の下渡団地が3区画。坪単価は7万4094円から9万8278円の範囲。

今後の売却は、説明会の感触ではなかなか難しい。

横倉山南面を購入

岡林学議員 横倉山南面の購入場所と広さは。

山中教育長 カプト嶽付近から市山の上辺りで、台帳面積で4万3953平方メートル。現在、境界測量を委託

している。

南面は、県立自然公園ではないが、日本最古の化石の産地で、地球の歴史を知り、町の貴重な財産を保護するため購入する。



市山からカプト嶽周辺は貴重な財産

中大平の水道整備

片岡清則議員 中大平の水道工事の完成時期は。

北添環境水道課長 県との協議が整い次第発注し、年度内完成を目指す。

柴尾の農道拡幅

西川晃議員 農道柴尾1号線拡幅工事の内容は。

小田産業建設課長 一本杉の手前から東に向かう農道で、路側の復旧と幅員を約50センチ広げる。

商工会にエアコン 観光協会にイスとテーブル購入

斎藤政広議員 商工会、観光協会の補助金の内容は。

小田産業建設課長 商工会は、2台のエアコンが壊れており、新しく購入する。

観光協会は、イベントに使うイスとテーブルが古くなっており、イス300脚、テーブル80台を購入する。

吉岡町長 エアコンはかなり前から壊れており、テーブルとイスもひどい状態であるので、この際思い切って町が100%を補助することにしました。



おち駅1周年イベントではイスもテーブルも足りないほどの大盛況

黒瀬キャンプ場に コイン式シャワー

岡林学議員 黒瀬キャンプ場のシャワーは何台設置するののか。

また、横倉山第2駐車場の復旧工事の内容は。

小田企画課長 シャワーはコイン式のを2台設置する。

横倉山は、表参道の石段前の駐車場が山からの水で崩れているので石積みで復旧する。

一般住宅の 耐震化に補助金

高橋丈一議員 一般住宅の耐震改修補助の内容は。

小田産業建設課長 耐震設計の補助限度額が1件20万円、耐震改修の限度額は1件60万円、いずれも補助率は国が50%、県と町が25%である。

防災用備蓄毛布を 500枚購入

岡林学議員 備蓄毛布の購入は、各地区へ備蓄するものか。

大原総務課長 東日本大震災で全部提供したので500枚を購入する。

各地区へ配備するものではない。

藤原俊夫議員 備蓄毛布は、町内業者から買うのか。

大原総務課長 町内業者を考えている。

町民運動場に 防犯用の門扉設置

高橋丈一議員 町民総合運動場の入り口門扉設置工事の内容は。

高橋教育次長 深夜にオートバイが施設内に入り、ヘリポートで暴走行為をしているという情報があり、伸縮性の門扉を設置する。

3区に公営住宅建設用地を購入

土地取得事業特別会計補正予算（賛成：全員）



執行部から購入予定地で説明を受ける

住宅建設は25年度

山橋正男議員

進入路を公道として明確にするべきではないか。

また、購入後の計画は、2分の1ずつ共有しているが、双方から町道に使用することの確認を得ている。

小田企画課長

地権者が今年度に建物の取り壊しを行い、建設は平成25年度の予定。

進入路が狭い

片岡清則議員

進入路の角が狭く、出入りにくいが、検討すべきではないか。

寄付をしても、らって町道に認定するが、安全性を考えて、地権者と話しして良い方法を考えたい。

吉岡町長

なお、西側の梅ノ木川の方から新設する進入路を主体に考えている。

土地単価の違い

高橋丈一議員

土地購入単価が、前回購入した隣接地と違う理由は。

小田企画課長

鑑定評価では、地盤、地質、地勢などの条件がやや劣る。さらに、間口が狭い、形状が不整形などのマイナスポイントがあり、前回より安くなっている。

今号の表紙

ラフティングゴムボートでの川下りで、横島本村キャンプ場前から鎌井田日ノ瀬キャンプ場前まで、約3時間を掛けて仁淀川を満喫する。

普段見ることの少ない変化に富んだ川面からの景色や岸辺にボートを着けて岩の上からのダイビングなどが楽しめる。撮影時は少し増水していたが、それがかえってスリルがある。ベテランガイドがいるので未経験者も安心して楽しめる。

【連絡先・越知町観光協会 0889・26・1004】



知をつなぐ

10年後の町の将来像

第5次総合振興計画は、「人口減少の抑制」「産業の活性化」「財源確保」の3点を課題に、従来の仕組みや制度、世代や団体などの枠組みを越え、知恵と知識をつなぎ合わせて共に動くことにより、10年後の町の将来像の実現を目指します。

この計画の策定は、町民アンケートや意見交換・意見公募、各種団体との意見交換会、中学生ワークショップ、振興計画審議会などを経て作られ、町の最上位計画に位置付け、1年ごとに計画の実現を確認・検証しつつ見直しを行うことになっています。

子育てや老後に不安のないまち

子育て支援や医療支援、介護予防などが充実した保健福祉サービスを行い、安心して子育てができ、老後の生活に不安を感じない明るいまちづくり。



地域資源を活かして 産業と雇用を確保

町内にある、人・物・自然・文化などを活用した産業を支援し、地元産業の活性化や雇用の創出を行い、暮らしの安定と活力あるまちづくり。



地域の自然を教育や文化に活かす

町独自の自然を活かした教育と文化の振興を図り、『越知を愛し世界に羽ばたく、心豊かでたくましく創造性に満ちた子ども』と『生涯にわたり学ぶ目的や意義を自覚し、自ら学ぶ力を持った人間』を育てる教育を目指す。



第5次総合振興計画

杵を越えて



事故や災害から町民を守る
道路や上下水道の整備を行い、町民の安全を確保し、災害時の救助体制を築き、速やかな対応ができる環境づくり。

目標人口 6000人
2020年に本町の人口は5524人と推測されているが、人口流出を抑え移住を促進し、子育てしやすいまちづくりにより、出生数を増やして目標人口を6000人とする。

絆でつながり共存共栄の未来をつくる
人と地域のつながりを強くして、自然の保全と活用を行い、人と自然、地域が共存共栄して発展するまちづくり。



1年ごとの実施計画は斎藤政広議員 実施計画は1年間の計画期間となっているが、その計画が記載されていない。
別冊になるのか、それとも過疎計画などを代わりにするのか。

過疎計画で示す小田企画課長 過疎計画を1年間の実施計画とする。
分かるように表記する。

将来人口6000人へ藤原俊夫議員 将来像の人口6000人を切らない取り組みを。
できる限り努力吉岡町長 極めて難しいが、できる限り努力する。

黒瀬口グハウス 地縁団体が指定管理

指定管理団体：黒瀬報徳会
指定の期間：平成23年7月1日から
平成26年3月31日
(賛成・全員)



夏休みには多くの利用が期待される

経費は収入で賄う

山橋正男議員

黒瀬口グ

ハウスの光熱水費や修繕の経費はどこが出るのか。また、赤字になった時は町が助成するのか。

小田企画課長

大きな修

繕は検討の上、町が負担するが、それ以外はすべて収入で賄うことになっている。今は赤字へ助成する考えはない。

横島地区 町道3路線を整備

辺地に係る総合整備計画 (賛成・全員)

本年度から5年間で、総事業費約3億7000万円を整備する。辺地対策事業債(借入金)は、事業費の100%を充当でき、交付税算入率(返済額が後に地方交付税として戻る)が80%と有利な起債事業である。

●町道今成深瀬線

栗ノ木から柚ノ木の間は幅員が狭く、待避所もなく生活車両や大型農耕車両、緊急車両等が円滑に通行できないため、早急な改良が必要である。

●町道筏津線

横島地区の町道と国道33号を結ぶ生活道兼農作業道だが、幅員が狭いうえ待避所もなく、車両の対向すら困難な状況であり、早急な改良が必要である。



議員全員で現地を視察。

①町道筏津線

②町道深瀬線



●町道深瀬線

深瀬地区と仁淀川町大板地区を結ぶ道路だが、幅員が狭く車両の対向が困難である。

両地区では、想定される南海地震や台風などの災害時には避難所や避難路を共有する集落間協定を結んで

条例の一部改正

●臨時職員等の休暇

臨時職員と非常勤職員の休暇は、年次有給休暇や裁判所出頭などの特別に認められる場合に加え、介護休暇や忌引き、病気休暇などを認める。

(賛成・全員)

●緊急時の施設の使用

町の施設を、災害やその他緊急時に、応急的に使用する場合、また町の活性化に寄与すると認められる場合は、無償または時価より低価格で貸すことができる。

(賛成・全員)

町道の認定

町道鬼ヶ島線(遊行寺)

・延長 829.4m

・幅員 2.6×7.5m

坂折川管理道から県道伊野仁淀線をつなぐ道路。

(賛成・全員)

専決処分

平成22年度一般会計補正

地方交付税の確定により財源調整を行い、施設等整備基金元金等の積立金として7002万円を追加し、総額4億9578万円とする。

主な歳入は、地方交付税3370万円、単独町営住宅の売り払い収入1282万円など。

(承認・全員)

国民健康保険税の課税限度額の見直し

低所得者の負担軽減を図るため、課税限度額を見直す。

基礎課税額は50万円から51万円に、後期高齢者支援金等課税額は13万円から14万円に、介護納付金課税額は10万円から12万円に引き上げる。

(承認・全員)

固定資産税の免除

製造業などの設備の新設等に係る課税免除の期限を2年間延長する。

(承認・全員)

平成22年度後期高齢者医療特別会計補正

後期高齢者医療広域連合への納付金額の確定により、473万円を追加し、総額1億432万円とする。

(承認・全員)

町税負担軽減の特例

東日本大震災に関連して、地方税法の一部改正に伴い、被災者の負担の軽減を図るため、固定資産税および個人住民税に係る特例措置を講ずる。

(承認・全員)

意見書

6月議会では、2件を全会一致で可決し関係機関に提出しました。

エネルギー政策の見直し

提出者 斎藤政広議員
世界では、原発から太陽光や風力などの自然エネルギーの開発、利用へと転換している中で、日本は大きく立ち遅れている。プルサーマル計画や高速増殖炉計画、核燃料リサイクル計画などは直ちに中止し、原発の総点検と計画的な縮小・撤退を行い、省エネの徹底と自然エネルギーを利用した発電に取り組むこと。

(賛成・全員)

【提出先】衆参両院議長、内閣総理大臣、環境大臣、経済産業大臣

デポジット制度の法制化

提出者 藤原俊夫議員
循環型社会を築くためには、生産者が、生産過程でゴミとなりにくい製品を作り、使用済み製品の回収・資源化まで責任を持つ拡大生産者責任の導入が必要である。

また、使い捨て容器の高い回収率とポイ捨て・不法投棄の防止に有効な手段であるデポジット制度の法制化を早期に実現することを求める。

(賛成・全員)

【提出先】衆参両院議長、内閣総理大臣、環境大臣、経済産業大臣、農林水産大臣、厚生労働大臣、消費者庁担当大臣

デポジット制度

容器などの価格に預かり金を上乗せして販売し、使用后に容器などを返したとき、預かり金が返却される制度。

広域議会

消防庁舎を改築

消防庁舎の改築に関して、用地約3102平方メートルを約1913万円で6月上旬に買収する。

設計は10月中に完成の予定である。

財源は、高吾北広域ふるさと市町村圏基金の一部を使うため、構成町（佐川町・越知町・仁淀川町）において12月議会で審議してもらいたい。

定例会（6月1日）

春日荘に

スプリングクラ

【工事請負契約の締結】

- ・ 契約金額 5523万円
 - ・ 契約の相手方 株式会社クリエイト
- 代表取締役 前田準作



改築される広域消防庁舎

6月補正予算

会計名	補正額	総額
特別養護老人ホーム 特別会 計	△9,105 万円	13 億 4,920 万円



片岡清則 議員

自然エネルギー

小水力発電に取り組み

議会と協力して検討／町長

水が豊富な溪流が多くあり、水の落差を利用した小水力発電が有望ではないか。

吉岡町長

伊方原発が事故

を起こせば、高知県も当然危なくなる。愛媛県を中心として、現状を把握して、十分な安全対策を講じると思っている。

小水力発電は、以前に谷ノ内の地すべり対策の排水

で検討したが、進んでいな

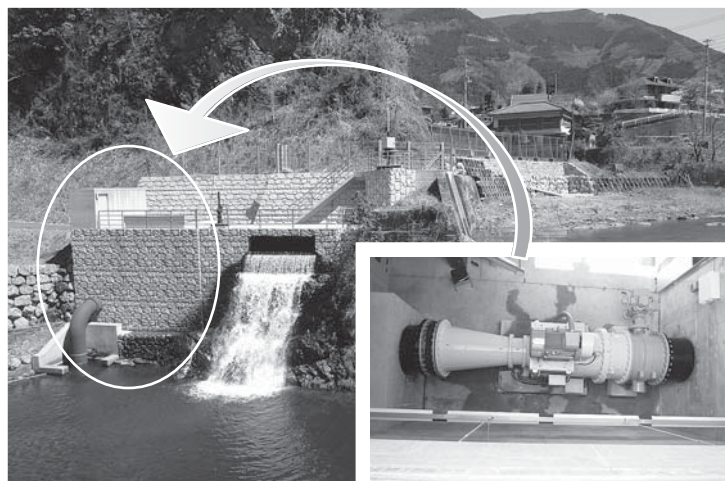
い。また、横島地区の農業用水路の活用が、県の小水力発電事業化の有望地点となっている。

今後は、議会の協力も得ながら検討したい。

火力発電に木材を

問 火力発電に、輸入し

た石炭や重油を使うより、山の間伐材を使えば、荒れ



発電設備を上から見た状態

栲原町が設置している小水力発電施設

た山も減り雇用も生まれるが、県内での取り組みを働き掛けてはどうか。

輸入木材減が前提

吉岡町長

国には、輸入

木材を減らすように要望しており、そうならないと難しい。

現状では難しい

小田産業建設課長

国が本格的に取り組み、電力会社が導入すれば、山の雇用と木材の活用で一石二鳥だが、現状では難しい。

企業との話は、仁淀川町

が第一線で進めており、その結果を待って結論を出したい。

仮に、話が駄目になれば、清算に移ることになるが、県の指示を得て清算人を置いて、整理することになる。

6月末で従業員解雇

岡副町長

昨年度から国の雇用安定助成金で経営を保ってきたが、助成金が継続できないとのことで、従業員には6月末付けで解雇することを通知した。

4月末には企業側は参入に前向きだったが、原木の調達の問題や役員構成も決まらないため、その後の進展はない。

(株)ソニア

大手企業の経営参入は

話が駄目なら清算／町長

問 6月末で従業員を全員解雇することだが、問題なく受け入れられたのか。

大手企業など3社が経営に参入するという話はどうなったのか。

その話がまとまらなかったら、ソニアの借金や補助金の返還はどのように始末をするのか。

吉岡町長

負債等は、JAコスモス借入金3600万円、公庫資金2800万円、

佐川町への固定資産税滞納額が約3000万円、清算になった場合の乾燥機購入の補助金返還6600万円、職員退職金2400万円などで、総額がおよそ1億8400万円になる。

資産は、森林組合への貸付金5800万円、預金3889万円、乾燥機6基、製材等の機械類、土地などがある。

従業員への解雇通知は、現時点ではスムーズに進んでいる。

問 東日本大震災で、原子力発電所が事故を起こしたが、四国の伊方原発は大丈夫か。

自然エネルギー対策に国が力を入れるとのことだが、本町では、地形が急峻で

歴史的建物

保存してイベントなどに活用

古い建物は大事に残したい／町長

問 町内の文化財的な要素を持つ古い建物を守り、後世に残す考えはあるか。

旧大川薬局は商店街のイベントなどでもよく活用されている。

町が一定期間を借り上げ、イベントなどに利用してはどうか。

今残っている建物は大事に残すよう整理しなくてはならないと思う。

旧大川薬局の借り上げについては検討したい。



齋藤政広 議員

吉岡町長 越知にもかつて歴史に残るような建物が多くあったが、どれも取り壊してしまつて残念だ。



おち町1周年イベントで陶芸や昔なつかしい写真を展示（旧大川薬局）

一般質問

交流事業 滝上町との交流10周年

10月7日に記念式典／企画課長

問 北海道滝上町との友好町交流10周年記念事業はどうするのか。

また、それぞれの町制記念事業以来、交流はなくなっているが、今後どのような交流を考えているか。遠くて経費も掛かると思うので、数年に一度、何かをするといった計画はできないのか。

小田企画課長 記念事業は10月7日、金曜日、午後3時から式典と祝賀会を予定している。

また、滝上町の物産販売も、コスモスまつり会場で



滝上町の町並み

3日間計画している。

今後は、観光物産館「おち駅」に滝上町コーナーを作り、物販の交流を考えている。

民間交流は、引き続きできることを進めるが、お互い無理のない、息の長い付き合いをしたい。

水道施設の管理

問 高齢化が進み、山間地域の水道取水地や配水タンクの管理が難しくなっている。また、施設の老朽化などの問題も抱えている。

水道施設の総点検を行い、問題点を整理して、解決方法を検討できないか。

年度内に全域調査

北添環境水道課長 本年度内に、町内のすべての水道施設の現地調査を行い、今後の維持管理に生かしたい。

山間集落では、命の水なので、いかに行政が手を差し伸べられるかを考えている。

節目で何かを企画

吉岡町長 北海道は遠くて経費が掛かることが、交流が広がらない原因の一つになっている。

節目を設けて、何かをするには、企画してみた

その他の質問

問 町の新しいホームページの作成は進んでいるか。

答 7月から公開できるよう準備している。

問 高知ファイティングドッグスの応援体制は。

答 サポート会員（町内の現在数は法人10社、個人40人）を増やすことに一層の努力をする。



市原静子 議員

高齢者対策

栗ノ木に患者バスを

早い時期に運行する／住民課長

問 栗ノ木集落では住民の43・59%が75歳以上（17人）で、ほとんどが病院へ通っている。



栗ノ木にも毎週金曜日に運行が始まった（7月8日）

地区からは、患者バスの運行を強く訴えている。住民の安全で安心の生活を守るために、患者バスを運行できないか。

吉岡町長 早急に運行するようにしたい。

岡林住民課長 横畠方面の患者バスは、双子を基点に月曜日と金曜日に運行している。

月曜日は、薬師堂から柚ノ木を折り返していたが、これを栗ノ木まで延ばして清水経由のコースを考えている。試運転では順調に走ってきた。

高齢者も多く強い要望もあるので、早い時期に実現したい。

防災対策

高い建物の救助対策

広域消防にクレーン車／町長

問 大震災はいつ起こるか分からないが、南海地震に備え、日々の生活の安全を確認することが大事だ。本町には、4階建てなどの高い建物について、災害時の救助などができる対策がされているか。

吉岡町長 高吾北広域消防で、はしご車に近い能力を持ったクレーン車を備えている。

5階くらいまで対応できるので、小舟団地でも訓練を行った。

本来は、はしご車が欲しいが、高額なため購入は難しい。

自主防災組織の現状

問 各地域の自主防災組織の結成状況と防災意識、防災力の向上にどのような取り組みをしているか。

年度末には80%に

大原総務課長 現在の自主防災組織は、28地区で26組織、結成率は55・7%と低い状況である。

区長にもお願いしており、東日本大震災の影響で防災意識も高くなっているので、本年度末には80%に近づきたい。



高い建物には特殊なクレーン車で対処

その他の質問

問 防火水槽のマンホール上に駐車している車の対策はどうする。

答 全地区の防火点検などで、消火活動の妨げにならないように努める。

山椒の予冷库の拡張を

費用対効果が低い／産業建設課長



山椒の収穫で大忙し

小田産業建設課長

青実

の収穫期間は20日くらいで、その内ピーク時は2、3日である。

こういった状況で増設が可能か県に問い合わせたが、費用対効果が低く、補助事業では難しいとのことだ。増設するなら町単独になると思う。

吉岡町長

検討はするが、すぐやるということではない。

問

山椒組合の予冷库は5000箱しか収納できない。

来年以降は収穫量も増えるので、今の施設では収まらなくなる。拡張はできないか。



ネコの手も…

一般質問

浅尾～梶ノ瀬の改良

効果的で懸案の道路だ／町長

町道改良



改良が期待される浅尾谷口線

梶ノ瀬から浅尾方面を望む

問

町道浅尾谷口線の浅尾から梶ノ瀬間は、車が通できない。また、洪水になると片岡の沈下橋も通行止めになる。

改良すれば、それが解消され、県道伊野仁淀線の改良工事中の迂回路などにも使用できる。

南片岡と梶ノ瀬地区にとって、大変重要な道路だが、改良工事ができないか。

吉岡町長

この道は地盤が悪い箇所があり、難しい工事も考えられるが、効果的で懸案の道路である。

それほど遅くない時期に、どのようにするか、はっきり結論を出す。

鳥獣駆除 カラスも対象に

問 鳥獣駆除の報奨金は、3月に一括して支払われているが、2カ月に1回くらいにできないか。

また、最近カラスによる被害が多くなっている。

カラスにも報奨金を出せば、駆除する人も多くなると思うが、駆除の対象にできないか。

出役助成金の上限枠を見直す

小田産業建設課長

猟友

会と協議して、今年から上半期と下半期に分けて2回支払う。来年以降は再度協議する。

駆除の対象は、サルとイノシシである。

その他の鳥や小動物を対象にすると、確認作業などの事務量が増えるので、出役助成金の上限枠を見直す対応する。

自然エネルギー

太陽光発電を増やす予定は

保育園・幼稚園・中学校校体育館へ／町長



高橋 文一 議員

問 自然エネルギーが見直されており、おち町と町民会館には太陽光発電を設置しているが、今後増やす予定はあるか。
また、風力発電の調査結果はどうなっているか。

吉岡町長 太陽光発電は、保育園と幼稚園に設置ができると聞いている。また、中学校校体育館の耐震改修事に合わせて、屋上に設置したいと考えている。
風力発電は、風向や風力を調べたら本町は難しいとのことだ。適当な場所があれば検討する。



町民会館の太陽光発電施設

北添環境水道課長 風力発電は、横島地区で調査を行い、該当する場所があったが、用地が解決できずに中止になっている。

南海地震の被害想定は

震度5強で100秒続く／総務課長

地震対策

みなで力を合わせて被害を防ぐ



問 近い将来起こると思われる「南海地震」の被害の想定と建物の耐震化や避難訓練などにどのように取り組むのか。

269棟、がけ崩れによる建物全壊129棟、半壊290棟、液状化による建物全壊が16棟などとなっている。

大原総務課長

高知県の

想定では、マグニチュード

8・4で、昭和の南海地震

の約4倍の規模である。

本町は震度5強で、揺れ

が100秒ほど続くと予想

されている。

建物の全壊が54棟、半壊

問 小水力発電は昭和30年頃から上ノ峠で行っていたが、検討できないか。
答 議会と協力して、調査や勉強会を始めていく。

その他の質問

問 桐見ダムで発電ができるようにできないか。

答 ダムの目的が変わるので難しい。

横倉林道でマラソン道
問 川を利用したイベントはたくさんあるが、山を利用したものがない。
横倉林道を活用して、マラソン大会を計画してはどうか。
人員配置が大変だ

小田企画課長 たくさんのボランティアなどが必要で、関係機関との調整や人員配置が大変と聞いている。

ヨシが生い茂る坂折川



寺村晃幸 議員

坂折川

繁殖したヨシの取り除きを

県が10月以降に実施／産業建設課長



問 県管理の坂折川にヨシが非常に繁殖している。以前に質問したときに、少し除去してもらったが、一度限りで終わっている。佐川町の柳瀬川も同じ県の管理河川だが、継続的にやっている。坂折川流域の地区から要望も出しているようだが、県に強気に働き掛けてもらいたい。

小田産業建設課長 平成21年度に、遊行寺橋周辺を一部除去してもらった。今年、遊行寺橋から下流部について、増水時期を避けて10月以降に除去する計画とのことだ。地元の声も大きく影響するので、流域の地区の要望書も提出しており、来年以降も継続して要望する。



佐川町の柳瀬川はきれいに取り除かれている

県道伊野仁淀線

カーブに側溝蓋を

地元に聞いて要望／産業建設課長

問 県道伊野仁淀線の桐見ダム事務所付近から佐之國分岐の間は、側溝蓋が大部分に設置され通りやすくなった。

高橋組の事務所前や生コン工場付近は、カーブになつて危険であり、高齢者が車輪を側溝へ落としていることもある。

側溝蓋の設置工事を県に要請できないか。

小田産業建設課長

以前から側溝蓋の設置要望が多いため、優先度の高い所から設置をお願いしてきた。県も地元の意見を聞いて、施工することなので、今後も地元の意見を上げてもらって、それを県の方へ要望していきたい。

大渡ダムの決壊は

問 南海地震によって、大渡ダムに亀裂が入り決壊する恐れはないか。

諸外国ではそういう事例もあると聞く。

最悪の事態を考えて、避難計画などを立てる必要があるのではないか。

地震には十分耐える

吉岡町長

大渡ダムは、想定される地震には十分耐えると聞いており、決壊することは想定していない。

ダム湖の上の地区で地すべり対策を行っているが、地震で山がダム湖に崩れると、その影響で水が溢れたり、ダムに亀裂が入ったりするかもしれない。

ダムが決壊すれば大惨事になると思うが、そうなるかどうかの問題であり、具体的にどういった対策ができるか、流域の首長などの意見を聞いてみたい。

議会報告会



5月27日に、区長さんを対象として議会報告会を実施しました。

初めての開催に26人が参加、3月定例会の審議内容や平成23年度予算などの説明と意見交換を行いました。

今後は各地域へ出向いて懇談会や報告会を行うなど、積極的に説明責任を果たしてまいります。

質疑や意見の概要

議員数を減らせないか

問 議員数は、佐川町との人口規模で比べたら半分ぐらいと思うが、2、3人減らせないか。

答 議会改革委員会で検討しており、2年後には結論が出ると思う。

議員報酬の減額は

問 町長から報酬を減らすといった話はないのか。

答 4年くらい前に話があり、3年連続下げて、県内の同じ規模の町では本町が一番低い。

議員報酬と町長・副町長の給料は、審議会(住民の中から町長が5人を任命)が審議して答申する。

自主防災組織を増やせ

問 組織率がよそと比べたら大変低いが、どのように取り組むか。

答 議会後に確認したら、4月に何力所かが結成して、今は60%を超している。

横畷小学校の活用

問 横畷小学校の活用に「反対はしないが協力できない」と意見があるとのことだが、どういうことか。

答 何人かの女性から依頼があつて聞いた。地区の皆さんが賛成して行事をするのなら反対する理由はない。

休校校舎の借金

問 休校校舎の建設費の借金は残っていないか。

答 休校中の校舎には借金は残っていない。

休校して数年間は国から管理費が入るが、今は明治中学校だけになっている。

大震災で財源に影響は

問 東日本大震災の影響で町の依存財源が減るのではないか。

答 特別交付税は少し減らされるかもしれないが、まだはつきりしないのとこだ。

間伐材の活用を

問 山の間伐を進め、木質バイオマス燃料などの活用を力を入れてはどうか。

答 そういった要望があるということは聞いておく。

道路上の保安対策

問 道路の上を柵もせず架線を張って材木を出している。あんなことが認められるのか。

答 責任者に会って、危険のないようにと伝えておく。

初開催



旧水道塔の取り壊し

問 古いものがどんどんなくなっているが、旧の水道塔はどうなる。

答 議会答弁後の進展は聞いていない。

TPPの問題

問 TPPの問題はどうなったのか。

答 全国の農協や生産団体も反対で、町もその方向で反対をするとのことだ。

広報紙を総カラーに

問 議会だよりや広報紙をカラーにできないか。

答 今は表紙と裏表紙はカラーだが、全ページカラーは行政と話してみる。

参加者アンケート

25人の方が答えていただきました。
無回答を除き、集計内容を掲載します。

① 議会報告会の期待は？

期待していた・11人

- 〔理由〕
- ・継続してください。
 - ・初めてで期待していた。

期待していなかった・10人

- 〔理由〕
- ・具体的な報告内容が分からなかった。
 - ・初めてなので。
 - ・協議内容が不明。
 - ・初めてで進め方が慣れていないと予想していた。

② 参加してどうでした？

非常に良かった・8人
まあまあ良かった・14人

- 〔理由〕
- ・議員の顔が見えて真剣な取り組みが分かった。
 - ・内容と目的が分かった。
 - ・少数者での会話を。
 - ・こちら側の要望が正確に受け入れられなかった。
 - ・良くなかった・0人

③ 地区での開催は？

希望する・4人

- 〔理由〕
- ・ただし、参加者数が心配。

希望しない・12人

- 〔理由〕
- ・年配者が多い。
 - ・場所がない。
 - ・住民が集まらない。

④ 議会への期待は？

- ・活発な議論を。
- ・町のレベルアップにつながる議論を。
- ・定数削減。

⑤ 議員への期待は？

- ・年に1回は質問を。
- ・地域の実情を把握してより良い地域づくりを。
- ・町民のために積極的な活動を。
- ・地区を回って話を聞く。
- ・住民のために頑張る。
- ・区長との交流を良くする。

⑥ その他の意見

- ・高齢者と放棄地対策に取り組んでほしい。
- ・若者住宅、雇用対策、山林の荒廃をどうするか。
- ・東北の災害で予算が減る心配はないか。
- ・「議員の報酬が高い。人員が多い」という声が出ないように活動してほしい。
- ・選出した議員に任しているので、住民が幸せになるよう努力してもらいたい。
- ・続けてください。

アンケート以外に電話などでご意見をいただきましたので、その一部を掲載します。

・双方の肩に力が入っていた。

・双方の考えや各地域の問題点などを知ることができて良かった。

・未熟な点もあったが、回を重ねるうちに良くなる。

・次回からは普段着でやってほしい。

・もつと誠意のある答えを。

・予算説明が良く分からなかった。目的や何に使われるかなどの具体例も聞きたかった。

・言いたいこともあったが、議員との間に壁を感じた。

・次回はもつと勉強して参加したい。



皆さんからいただいたご意見・ご提言は、今後の議会活動に生かします

議会です
こんにちわ

おち駅の1年を振り返る

観光物産館 おち駅



おち駅1周年イベント(撮影4月24日)

観光物産館「おち駅」が昨年4月にオープンし、物産部門に携わっている西森文江さんに、これまでの成果や課題をうかがいました。



現在、出品している会員は約2000人で、平均年齢が約70歳。年会費は当初、町内4000円、町外5000円だったが、一律1000円にして、会員増とより多くの出品を求めています。(加入問い合わせはコスモス農協越知支所・購買係0889・26・2860)

西森さんは「農産物は葉物野菜の売り上げが良いが、自然相手のため、悪天候で品物が不足することもあり、毎日が勉強とハプニングです」と述べられ、安定した品物の提供が課題とのことでした。

加工品では、漬物や寿司、てんぷらなどに加え、地元産の小夏のソフトクリーム(250円とミニサイズ150円)や50個限定で日曜日のみ販売の土佐あか牛バーガー(400円)は、徐々にファンが増えてきています。また、火曜、木曜、金曜の「さかなの日」には、たくさんのお魚を販売し、それが目当ての客もいるようです。



1年間で約5650万円の売り上げで、目標の6000万円には届きませんが、外部の人を交えた「経営改善会議」を立ち上げ、会員の増加と豊富な品ぞろえを

目指して知恵を出し合っています。

西森さんは「6月の来客は1日平均220人で、日に何度も来店して

くれるお客さん多いが、土曜、日曜などはもう少し町外の人に足を運んでもらいたい」、「買い物だけでなく、生産者と消費者の交流や地域住民の憩いの場として、ここを気軽に利用してもらいたい」と期待を込めて述べられました。

今後とも、安定した運営に努めて、地域に欠かせない充実した施設に成長することを望みます。

次の定例会は9月です。6月定例会の傍聴者は7人でした。多くの方の傍聴をお願いします。

編集後記

新人議員の登竜門の議会広報委員となり1年近くになる。編集作業に最初は不安だったが、一般質問の校正や紙面レイアウト、写真撮影などの回を重ねるうちに1ページ、1ページのバランスや見出しなどが気になるようになった。

本町の議会だよりは、全国コンクールでトップ10を4年間維持しており、今年の東京での全国研修会でも参考例に取り上げられ、この1年間に県外6市町議会の広報委員が視察に訪れている。

ここに至るまでは、先輩議員が苦勞を重ねて努力した結果であることは確かだ。

その努力を汚すことなく、さらに内容を充実させ、興味を持ってもらえる「議会だより」にするため、われわれの責任は重大だ。
《高橋》

編集・発行責任者

議長 岡林 幸政

議会広報常任委員会

委員長 岡林 学

副委員長 斎藤 政広

委員 武智 龍

委員 高橋 丈一

委員 市原 静子

※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せください。